

事 務 連 絡
令和4年9月22日

各都道府県各種学校主管課
日本インターナショナルスクール協議会 御中
在日ブラジル学校協議会

文部科学省大臣官房国際課

「学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の
対応ガイドライン」（英語仮訳版）について

この度、令和4年9月2日付け事務連絡により周知しておりました「学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドライン（令和4年8月改定版）」（別紙1）の英語仮訳版を別紙2のとおりお送りします。また、参考資料として令和3年8月30日付け事務連絡でお知らせした当該ガイドラインからの主な改定事項についてまとめた資料についても併せてお送りいたします。

なお、今般のガイドラインの改定は、令和4年2月3日及び同年3月23日にお知らせした、ガイドラインのオミクロン株に対応した運用に当たっての留意事項も踏まえたものであることを念のため申し添えます。

今般の新型コロナウイルス感染症に際して必要な対応について適切に御判断いただくための参考資料としていただけますと幸いです。

各都道府県各種学校主管課におかれては、所轄の各種学校のうち外国人学校に対して周知くださいますようお願いいたします。

日本インターナショナルスクール協議会及び在日ブラジル学校協議会におかれては、加盟校に対して周知くださいますようお願いいたします。

（本件連絡先）

文部科学省大臣官房国際課
国際協力企画室 外国人教育政策企画係
Tel：03-5253-4111（内線 3222）
Fax：03-5253-3669
E-mail：kokusai@mext.go.jp

(Tentative translation)
International Affairs Division, Minister's Secretariat
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)

September 22, 2022

Attn: Prefectural miscellaneous category school departments,
Japan Council of International Schools (JCIS),
Association of Brazilian Schools in Japan (AEBJ)

Tentative English translation of the “Guidelines for Countermeasures in the case where COVID-19 Infection of Students, Teachers or Staff is confirmed at the Schools”

We have prepared a tentative English translation of the “Guidelines for Countermeasures in the case where COVID-19 Infection of Students, Teachers or Staff is confirmed at the Schools (August 2022 Revised Edition)” (attachment 1), which was announced in the notification dated September 2, 2022, as shown in the attachment 2. In addition, we have also prepared a document summarizing the major revisions to the Guidelines, which was announced in the notification dated August 30, 2021, for your reference.

Please be advised that this revision of the Guidelines also takes into account the points to be noted in response to the Omicron variant in the Guidelines, which were announced on February 3 and March 23, 2022.

We are sharing this announcement with you with the hope that it will be utilized as a reference for your consideration of your responses to COVID-19.

To Prefectural miscellaneous category school departments: Please send this notification to the miscellaneous schools for foreign students under your jurisdiction.

To JCIS and AEBJ: Please send this notification to members of your council or association.

[Contact]

Office for International Cooperation Planning, International Affairs Division,
Minister's Secretariat,

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)

Tel: 03-5253-4111 (Ext: 3222), Fax: 03-5253-3669, E-mail: kokusai@mext.go.jp

学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の
対応ガイドライン（令和 4 年 8 月改定版）

学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルス感染が確認された場合に、地域の感染状況や保健所の業務の状況等を踏まえ、迅速に対応するため、平常時から学校と保健所が連携をとり、初動体制について、あらかじめ整理しておくことが重要です。

本ガイドラインでは、主として感染拡大地域において、学校における濃厚接触者等の特定や臨時休業の判断等に当たっての考え方を取りまとめました。各学校や学校の設置者において、地域の感染状況等に応じた対応の参考としてください。

なお、本ガイドラインは、各地域において、今回お示しするような基準がない場合、又は改めて学校設置者と保健所とで学校で感染者が発生した場合の対応について協議する場合などに役立てていただくことを想定しており、既に各地域で同様の基準がある場合には、それによっていただいて構いません。

また、現在、オミクロン株の特性等を踏まえ、学校で感染者が発生した場合であっても、保健所等による濃厚接触者の特定は必ずしも行われなかったこととされていることに御留意ください（詳細は、「B.1.1.529 系統（オミクロン株）が主流である間の当該株の特徴を踏まえた感染者の発生場所毎の濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について」（令和 4 年 7 月 30 日付け厚生労働省事務連絡）を参照のこと。）。

1. 学校で感染者が確認された場合の対応

学校で児童生徒等や教職員の感染者が確認された場合は、校長は、感染した児童生徒等について出席停止の措置をとるほか、感染者が教職員である場合は、病気休暇等の取得や在宅勤務、職務専念義務の免除等により出勤させないようにしてください。

また、保健所等による濃厚接触者の特定が行われる学校においては、当該感染者との関係で児童生徒等や教職員が濃厚接触者と判定された場合にも、同様の措置をとってください。ただし、幼稚園、小学校、義務教育学校及び特別支援学校において、幼児児童等に必要な教育等が提供されるための緊急的な対応として、濃厚接触者となった教職員については、待機期間中においても、一定の条件の下、出勤を可能とする取扱いも認められています（詳細は、「保育所、

幼稚園、小学校等の職員である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応について」(令和4年3月16日付け厚生労働省事務連絡)を参照のこと。)

2. 濃厚接触者等の特定について

現在、濃厚接触者の特定は自治体の判断によりハイリスク施設に重点化することが可能とされていますが、クラスターが確認された場合など、各自治体が感染拡大の防止のために必要と判断する場合や、幼稚園、小学校、義務教育学校又は特別支援学校について濃厚接触者の特定・行動制限に係る方針を各自治体において定めている場合には、学校においても濃厚接触者の特定が実施されることもあります。

その場合に、感染者本人への行動履歴等のヒアリングや濃厚接触者等の特定等のための調査は、通常、保健所が行いますが、感染拡大地域における学校においては、保健所が示す一定の基準に基づく濃厚接触者やその周辺の検査対象者となる者（以下「濃厚接触者等」という。）の特定のため、校内の濃厚接触者等の候補者リストの作成に協力することが必要な場合があります。

※ そのほか、濃厚接触者の特定については、上記の令和4年7月30日付け厚生労働省事務連絡及び「小児の新型コロナウイルス感染症対応について」(令和4年6月20日付け厚生労働省事務連絡)も参照してください。

※ ただし、保健所等による積極的疫学調査等が実施されない学校については、特段濃厚接触者等の候補者リストの作成を行う必要はありません。

このため、学校、教育委員会等は、保健福祉部局その他関係機関と、事前に保健所との協力体制について可能な限り相談をしてください。

<濃厚接触者等の候補の考え方>

校内の濃厚接触者等の候補の範囲は、感染者の感染可能期間（発症2日前（無症状者の場合は、陽性確定に係る検体採取日の2日前）から退院又は療養解除の基準を満たすまでの期間をいう。以下同じ。）のうち当該感染者が入院、宿泊療養又は自宅療養を開始するまでの期間において以下の①又は②いずれかに該当する児童生徒等及び教職員とします。

なお、学校等が行うのは保健所から求められた場合の濃厚接触者等の候補者リストの作成であり、①又は②のいずれかに該当することのみを以て、一律に出席停止の措置をとることを求めるものではありません。特に②については、地域の感染状況や学校における活動の実態等を踏まえた上で適切に判断することが必要です。

①濃厚接触者の候補

- ・感染者と同居（寮等において感染者と同室の場合を含む）又は長時間の接触があった者
- ・適切な感染防護なしに感染者を介護していた者
- ・感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば等）に直接接触した可能性の高い者（1メートル以内の距離で互いにマスクなしで会話が交わされた場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する場合がある）
- ・手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なし（※）で、感染者と15分以上の接触があった者（例えば、感染者と会話していた者）

※ 必要な感染予防策については、マスクを着用していたかのみならず、いわゆる鼻出しマスクや顎マスク等、マスクの着用が不適切な状態ではなかったかについても確認する。

②濃厚接触者周辺の検査対象となる者の候補

- ・感染者からの物理的な距離が近い、又は物理的な距離が離れていても接触頻度が高い者等（感染者と同一の学級の児童生徒等）
- ・大声を出す活動、呼気が激しくなるような運動を共にした者等（感染者と同一の部活動に所属する児童生徒等）
- ・感染者と食事の場や洗面浴室等の場を共有する生活を送っている者等（感染者と同一の寮で生活する児童生徒等）
- ・その他、感染対策が不十分な環境で感染者と接触した者等

3. 出席停止の措置及び臨時休業の判断について

学校において感染者が発生した場合に、学校の全部または一部の臨時休業を行う必要性については、通常、保健所の調査や学校医の助言等を踏まえて学校の設置者が判断することとなりますが、学校の設置者は、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合に臨時休業を行う範囲や条件を事前に検討し、公表しておくことが適切です。

<臨時休業の範囲や条件の例>

学校で家庭内感染ではない感染者が発生したときなど、学校内で感染が広がっている可能性が考えられる場合には、当該感染者等を出席停止とするとともに、学校医等と相談し、以下のとおり臨時休業を検討してください。

【学級閉鎖】

- 以下のいずれかの状況に該当し、かつ、学級内で感染が広がっている可能性が高い場合、学級閉鎖を実施する。

- ①同一の学級において複数の児童生徒等の感染が判明した場合
- ②感染が確認された者が1名であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合
- ③その他、設置者で必要と判断した場合

※ ただし、感染可能期間に学校に来ていない者の発症は除く。

※ なお、保健所等による濃厚接触者の特定が行われる学校においては、感染が確認された児童生徒等1名に加えて、複数の濃厚接触者が存在する場合についても、学級閉鎖を実施することも考えられる。

- 上記において、「複数」としている趣旨は、人数に着目したものではなく、学級内における感染拡大を防止する観点であることから、例えば、同一の学級において、複数の児童生徒等の感染が確認された場合であっても、その児童生徒等の間で感染経路に関連がない場合やそのほか学級内の他の児童生徒等に感染が広がっているおそれがない場合については、学級閉鎖を行う必要はない。

- 学級閉鎖の期間としては、5日程度（土日祝日を含む。）を目安に、感染の把握状況、感染の拡大状況、児童生徒等への影響等を踏まえて判断する。

ただし、上記において未診断の風邪等の症状を有する者や濃厚接触者の検査の陰性が確認できた場合等には、当該期間を短縮するなど、柔軟な対応を行うことが可能である。

【学年閉鎖】

- 複数の学級を閉鎖し、かつ、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合、学年閉鎖を実施する。

【学校全体の臨時休業】

- 複数の学年を閉鎖し、かつ、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合、学校全体の臨時休業を実施する。

なお、これ以外に、初期対応としての臨時休業等については基本的に行う必要はありませんが、保健所等による濃厚接触者の特定が行われる学校につ

いては、全体像が把握できるまでの間、臨時休業を行うことも考えられます。

また、保健所の業務の状況等により、実施が遅延するような場合には、
学校医等と相談し、臨時休業を開始してから5日後程度（土日祝日を含む。）
を目安として再開することが考えられます。

学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドライン

【主な改定事項】

第 1 版	令和 4 年 8 月 1 9 日改定版
学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルス感染が確認された場合に、地域の感染状況や保健所の業務の状況等を踏まえ、迅速に対応するため、平常時から学校と保健所が連携をとり、初動体制について、あらかじめ整理しておくことが重要です。 本ガイドラインでは、特に緊急事態宣言対象地域等に指定された状況下で、学校における濃厚接触者等の特定や臨時休業の判断等に当たっての考え方を取りまとめました。各学校や学校の設置者において、地域の感染状況等に応じた対応の参考としてください。 なお、本ガイドラインは、各地域において、今回お示しするような基準がない場合、又は改めて学校設置者と保健所とで学校で感染者が発生した場合の対応について協議する場合などに役立てていただくことを想定しており、既に各地域で同様の基準がある場合には、それによっていただいて構いません。 <u>また、濃厚接触者等の特定等への協力に関する具体的な手続きについては、「感染拡大地域における濃厚接触者の特定等の協力について」（令和 3 年 6 月 17 日付け事務連絡）を参照してください。</u>	学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルス感染が確認された場合に、地域の感染状況や保健所の業務の状況等を踏まえ、迅速に対応するため、平常時から学校と保健所が連携をとり、初動体制について、あらかじめ整理しておくことが重要です。 本ガイドラインでは、主として感染拡大地域において、学校における濃厚接触者等の特定や臨時休業の判断等に当たっての考え方を取りまとめました。各学校や学校の設置者において、地域の感染状況等に応じた対応の参考としてください。 なお、本ガイドラインは、各地域において、今回お示しするような基準がない場合、又は改めて学校設置者と保健所とで学校で感染者が発生した場合の対応について協議する場合などに役立てていただくことを想定しており、既に各地域で同様の基準がある場合には、それによっていただいて構いません。 <u>また、現在、オミクロン株の特性等を踏まえ、学校で感染者が発生した場合であっても、保健所等による濃厚接触者の特定は必ずしも行われなかったとされていることに御留意ください（詳細は、「B.1.1.529 系統（オミクロン株）が主流である間の当該株の特徴を踏まえた感染者の発生場所毎の濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について」（令和 4 年 7 月 30 日付け厚生労働省事務連絡）を参照のこと。）。</u>

1. 学校で感染者が確認された場合の対応

学校で児童生徒等や教職員の感染者が確認された場合は、校長は、感染した児童生徒等について出席停止の措置をとるほか、感染者が教職員である場合は、病気休暇等の取得や在宅勤務、職務専念義務の免除等により出勤させないようにしてください。

また、児童生徒等や教職員が濃厚接触者と判定された場合にも、同様の措置をとってください。

2. 濃厚接触者等の特定について

児童生徒等や教職員の感染が判明した場合に、感染者本人への行動履歴等のヒアリングや濃厚接触者等の特定等のための調査は、通常、保健所が行いますが、緊急事態宣言対象地域、又はまん延防止等重点措置区域にお

1. 学校で感染者が確認された場合の対応

学校で児童生徒等や教職員の感染者が確認された場合は、校長は、感染した児童生徒等について出席停止の措置をとるほか、感染者が教職員である場合は、病気休暇等の取得や在宅勤務、職務専念義務の免除等により出勤させないようにしてください。

また、保健所等による濃厚接触者の特定が行われる学校においては、当該感染者との関係で児童生徒等や教職員が濃厚接触者と判定された場合にも、同様の措置をとってください。ただし、幼稚園、小学校、義務教育学校及び特別支援学校において、幼児児童等に必要な教育等が提供されるための緊急的な対応として、濃厚接触者となった教職員については、待機期間中においても、一定の条件の下、出勤を可能とする取扱いも認められています（詳細は、「保育所、幼稚園、小学校等の職員である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応について」（令和4年3月16日付け厚生労働省事務連絡）を参照のこと。）。

2. 濃厚接触者等の特定について

現在、濃厚接触者の特定は自治体の判断によりハイリスク施設に重点化することが可能とされていますが、クラスターが確認された場合など、各自治体が感染拡大の防止のために必要と判断する場合や、幼稚園、小学校、義務教育学校又は特別支援学校について濃厚接触者の特定・行動制限に係る方針を各自治体において定めている場合には、学校においても濃厚接触者の特定が実施されることもあります。

その場合に、感染者本人への行動履歴等のヒアリングや濃厚接触者等の特定等のための調査は、通常、保健所が行いますが、感染拡大地域における学校においては、保健所が示す一定の基準に基づく濃厚接触者やその周

ける学校においては、保健所が示す一定の基準に基づく濃厚接触者やその周辺の検査対象者となる者（以下「濃厚接触者等」という）の特定のため、校内の濃厚接触者等の候補者リストの作成に協力することが必要な場合があります。ただし、保健所等による積極的疫学調査等が実施されない学校については、特段濃厚接触者等の候補者リストの作成を行う必要はありません。

学校、教育委員会等は、保健福祉部局その他関係機関と、事前に保健所との協力体制について可能な限り相談をしてください。

<濃厚接触者等の候補の考え方>

校内の濃厚接触者等の候補の範囲は、感染者の感染可能期間（発症2日前（無症状者の場合は、陽性確定に係る検体採取日の2日前）から退院又は療養解除の基準を満たすまでの期間）のうち当該感染者が入院、宿泊療養又は自宅療養を開始するまでの期間において以下の①又は②いずれかに該当する児童生徒等及び教職員とします。

辺の検査対象者となる者（以下「濃厚接触者等」という。）の特定のため、校内の濃厚接触者等の候補者リストの作成に協力することが必要な場合があります。

※ そのほか、濃厚接触者の特定については、上記の令和4年7月30日付け厚生労働省事務連絡及び「小児の新型コロナウイルス感染症対応について」（令和4年6月20日付け厚生労働省事務連絡）も参照してください。

※ ただし、保健所等による積極的疫学調査等が実施されない学校については、特段濃厚接触者等の候補者リストの作成を行う必要はありません。

このため、学校、教育委員会等は、保健福祉部局その他関係機関と、事前に保健所との協力体制について可能な限り相談をしてください。

<濃厚接触者等の候補の考え方>

校内の濃厚接触者等の候補の範囲は、感染者の感染可能期間（発症2日前（無症状者の場合は、陽性確定に係る検体採取日の2日前）から退院又は療養解除の基準を満たすまでの期間をいう。以下同じ。）のうち当該感染者が入院、宿泊療養又は自宅療養を開始するまでの期間において以下の①又は②いずれかに該当する児童生徒等及び教職員とします。

なお、学校等が行うのは保健所から求められた場合の濃厚接触者等の候補者リストの作成であり、①又は②のいずれかに該当することのみを以て、一律に出席停止の措置をとることを求めるものではありません。特に②については、地域の感染状況や学校における活動の実態等を踏まえた上で適切に判断することが必要です。

①濃厚接触者の候補

- ・感染者と同居（寮等において感染者と同室の場合を含む）又は長時間の接触があった者
- ・適切な感染防護なしに感染者を介護していた者
- ・感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば等）に直接触れた可能性の高い者（1メートル以内の距離で互いにマスクなしで会話が交わされた場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する場合がある）
- ・手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なし（※）で、感染者と15分以上の接触があった者（例えば、感染者と会話していた者）

※ 必要な感染予防策については、マスクを着用していたかのみならず、いわゆる鼻出しマスクや顎マスク等、マスクの着用が不適切な状態ではなかったかについても確認する。

②濃厚接触者周辺の検査対象となる者の候補

- ・感染者からの物理的な距離が近い、又は物理的な距離が離れていても接触頻度が高い者等（感染者と同一の学級の児童生徒等）
- ・大声を出す活動、呼気が激しくなるような運動を共にした者等（感染者と同一の部活動に所属する児童生徒等）
- ・感染者と食事の場や洗面浴室等の場を共有する生活を送っている者等（感染者と同一の寮で生活する児童生徒等）
- ・その他、感染対策が不十分な環境で感染者と接触した者等

※ 学校において上記①②の候補の速やかな特定が困難な場合は、判明した感染者が1人でも、感染状況によっては、原則として当該感染者が属する学級等の全ての者を検査対象の候補とすることが考えられる。

①濃厚接触者の候補

- ・感染者と同居（寮等において感染者と同室の場合を含む）又は長時間の接触があった者
- ・適切な感染防護なしに感染者を介護していた者
- ・感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば等）に直接触れた可能性の高い者（1メートル以内の距離で互いにマスクなしで会話が交わされた場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する場合がある）
- ・手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なし（※）で、感染者と15分以上の接触があった者（例えば、感染者と会話していた者）

※ 必要な感染予防策については、マスクを着用していたかのみならず、いわゆる鼻出しマスクや顎マスク等、マスクの着用が不適切な状態ではなかったかについても確認する。

②濃厚接触者周辺の検査対象となる者の候補

- ・感染者からの物理的な距離が近い、又は物理的な距離が離れていても接触頻度が高い者等（感染者と同一の学級の児童生徒等）
- ・大声を出す活動、呼気が激しくなるような運動を共にした者等（感染者と同一の部活動に所属する児童生徒等）
- ・感染者と食事の場や洗面浴室等の場を共有する生活を送っている者等（感染者と同一の寮で生活する児童生徒等）
- ・その他、感染対策が不十分な環境で感染者と接触した者等

3. 出席停止の措置及び臨時休業の判断について

学校において感染者が発生した場合に、学校の全部または一部の臨時休業を行う必要性については、通常、保健所の調査や学校医の助言等を踏まえて学校の設置者が判断することとなりますが、学校の設置者は、緊急事態宣言対象地域、又はまん延防止等重点措置区域においては、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合に臨時休業を行う範囲や条件を事前に検討し、公表しておくことが適切です。

<臨時休業の範囲や条件の例>

学校で家庭内感染ではない感染者が発生したときなど、学校内で感染が広がっている可能性が考えられる場合には、当該感染者等を出席停止とするとともに、学校医等と相談し、以下のとおり臨時休業を検討してください。

まず、保健所等による積極的疫学調査等が実施されない学校については、特段初期対応としての臨時休業を行う必要はなく、感染状況等に応じ、直接【学級閉鎖】等を示す基準を参考に、臨時休業の検討をしてください。保健所等による積極的疫学調査等が実施される学校の臨時休業の期間については、全体として概ね数日～5日程度(土日祝日を含む。)、臨時休業を行うことが考えられます。なお、ばく露から症状発症まで、最大14日、多くは5日と長いこと、既に感染が顕在化した時点で、臨時休業を行ったとしても感染の拡大がさらに広がる可能性があることに留意してください。

その上で、把握された全体像の状況によって、感染が拡大している可能性がある場合においては、教育委員会等の設置者は次の必要な対策と

3. 出席停止の措置及び臨時休業の判断について

学校において感染者が発生した場合に、学校の全部または一部の臨時休業を行う必要性については、通常、保健所の調査や学校医の助言等を踏まえて学校の設置者が判断することとなりますが、学校の設置者は、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合に臨時休業を行う範囲や条件を事前に検討し、公表しておくことが適切です。

<臨時休業の範囲や条件の例>

学校で家庭内感染ではない感染者が発生したときなど、学校内で感染が広がっている可能性が考えられる場合には、当該感染者等を出席停止とするとともに、学校医等と相談し、以下のとおり臨時休業を検討してください。

して学級あるいは学年・学校単位の臨時休業の検討をしてください。

【学級閉鎖】

○ 以下のいずれかの状況に該当し、学級内で感染が広がっている可能性が高い場合、学級閉鎖を実施する。

- ①同一の学級において複数の児童生徒等の感染が判明した場合
- ②感染が確認された者が1名であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合
- ③1名の感染者が判明し、複数の濃厚接触者が存在する場合
- ④その他、設置者で必要と判断した場合

(※ただし、学校に2週間以上来ていない者の発症は除く。)

(※また、保健所等による積極的疫学調査等が実施されない学校については、特段③を考慮する必要はありません。)

○ 学級閉鎖の期間としては、5日程度(土日祝日、全体像の把握

【学級閉鎖】

○ 以下のいずれかの状況に該当し、かつ、学級内で感染が広がっている可能性が高い場合、学級閉鎖を実施する。

- ①同一の学級において複数の児童生徒等の感染が判明した場合
- ②感染が確認された者が1名であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合
- ③その他、設置者で必要と判断した場合

※ ただし、感染可能期間に学校に来ていない者の発症は除く。

※ なお、保健所等による濃厚接触者の特定が行われる学校においては、感染が確認された児童生徒等1名に加えて、複数の濃厚接触者が存在する場合についても、学級閉鎖を実施することも考えられる。

○ 上記において、「複数」としている趣旨は、人数に着目したものではなく、学級内における感染拡大を防止する観点であることから、例えば、同一の学級において、複数の児童生徒等の感染が確認された場合であっても、その児童生徒等の間で感染経路に関連がない場合やそのほか学級内の他の児童生徒等に感染が広がっているおそれがない場合については、学級閉鎖を行う必要はない。

○ 学級閉鎖の期間としては、5日程度(土日祝日を含む。)を目

等のために行った臨時休業の期間を含む。)を目安に、感染の把握状況、感染の拡大状況、児童生徒等への影響等を踏まえて判断する(その場合においても、当該学級について、①保健所等による積極的疫学調査等が実施されない場合においては未診断の風邪等の症状を有する者の検査の陰性が確認できた場合、②保健所等による積極的疫学調査等が実施される場合においては未診断の風邪等の症状を有する者や濃厚接触者を対象としたものを含めた適切な疫学調査が実施され、濃厚接触者等の特定やその検査の陰性が確認できた場合等には、当該期間を短縮することが考えられる。)

【学年閉鎖】

- 複数の学級を閉鎖するなど、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合、学年閉鎖を実施する。

【学校全体の臨時休業】

- 複数の学年を閉鎖するなど、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合、学校全体の臨時休業を実施する。

【積極的疫学調査の実施が遅延した場合の学校再開】

- 学校医等と相談し、臨時休業を開始してから5日後程度(土日祝日を含む。)を目安として再開することが考えられる。(その際、発熱等の風邪の症状がある者については自宅で休養すること、健康状態の把握その他の感染症対策を一層徹底しながら、慎重に再開する。)

安に、感染の把握状況、感染の拡大状況、児童生徒等への影響等を踏まえて判断する。

ただし、上記において未診断の風邪等の症状を有する者や濃厚接触者の検査の陰性が確認できた場合等には、当該期間を短縮するなど、柔軟な対応を行うことが可能である。

【学年閉鎖】

- 複数の学級を閉鎖し、かつ、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合、学年閉鎖を実施する。

【学校全体の臨時休業】

- 複数の学年を閉鎖し、かつ、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合、学校全体の臨時休業を実施する。

なお、これ以外に、初期対応としての臨時休業等については基本的に
行う必要はありませんが、保健所等による濃厚接触者の特定が行われる
学校については、全体像が把握できるまでの間、臨時休業を行うことも
考えられます。

また、保健所の業務の状況等により、実施が遅延するような場合には、
学校医等と相談し、臨時休業を開始してから5日後程度(土日祝日を含む。)
を目安として再開することが考えられます。

(Tentative translation)

Guidelines for Countermeasures in the Case Where COVID-19 Infection of Students, Teachers or Staff is Confirmed at the Schools (August 2022 Revised Edition)

When a case of COVID-19 is confirmed among students, teachers or staff at a school, in order for the school to be able to respond promptly in light of the situation of infection in the area and the volume of work of the public health center, it is important for the school and public health center to cooperate during normal times and to consent to an initial response system in place in advance.

These Guidelines summarize the way of thinking in identifying close contacts, etc. in a school and making decisions on temporary closure, mainly in regions where COVID-19 infections have spread. For the schools and the establisher of school, please refer to these Guidelines so as to respond according to the situation of infection in the area.

These Guidelines are envisaged to be helpful in areas where there are no existing standards like the ones indicated in these Guidelines, or when the school establisher and the public health center need to discuss the response again when someone at the school tests positive for COVID-19, and if there are already similar standards in your area, you may follow them.

Moreover, based on the characteristics of the current Omicron variant, please note that even if cases of infection occur at a school, it may not be necessary for the health center to specify close contacts. (For details, please refer to “Identification of persons in close contact at each place where an incident of infection has occurred, restrictions on movements, and active epidemiological examinations, based on the characteristics of the prevalent B.1.1529 Omicron variant strain,” a notification issued by the Ministry of Health, Labour and Welfare (MHLW) on July 30, 2022.)

1.Responses when a case of COVID-19 is confirmed at a school

When a case of COVID-19 is confirmed among students, teachers or staff at a school, if the person testing positive is a student, the principal should take measures to ensure that the student stays off school, whereas if the person testing positive is a teacher or staff member, such person should take sick leave or work from home, and should not be made to go to work by reason of an exemption from the obligation to fulfill their work duties.

In cases where students, teachers or staff are designated as close contacts because of relations with infected persons at schools where close contacts are specified by the health center, the same measures should be taken. However, as an emergency response in order to provide the necessary education to children at kindergartens, elementary schools, compulsory education schools, and special needs schools, teachers or staff who are determined to be close contacts may be allowed to go to the school under certain conditions. (For details, see “Responses to requests for refraining from going out to close contacts who are staff at health centers, kindergartens, elementary schools, etc.,” a notification issued by the MHLW on March 16, 2022.)

2. Identifying close contacts, etc.

At present, the priority for the determination of close contacts may be given to high-risk facilities according to determination of the local government, but in cases where infection clusters have been confirmed, the local government deems that identification is necessary to prevent the spread of infections, or the local government decides has guidelines for the identification of close contacts and for the restrictions of movement at regarding kindergartens, elementary schools, compulsory education schools, and special needs schools and for the restrictions of movement, the school may specify close contacts may be identified even in the school.

In such a case when COVID-19 is confirmed among students, teachers or staff, the public health center usually conducts an interview to look into the movements of the person testing positive and conducts an investigation to identify close contacts. However, with regard to schools in areas with wide-spread infections, in order to identify close contacts and persons in their vicinity subject to testing (hereinafter referred to as “close contacts, etc.”) based on certain standards indicated by the relevant public health center, it may be necessary for the school to cooperate in preparing a list of possible close contacts, etc.

* In regards to identifications of close contacts, please also refer to the above-mentioned MHLW notification issued on July 30, 2022 and “Responses to COVID-19 infections of young children,” a MHLW notification issued on June 20, 2022.

* However, for schools where active epidemiological examinations are not conducted by the health center, it is not necessary for the schools to prepare a list of possible close contacts. Schools, boards of education, etc. should consult as much as possible with the public health management department and other related organizations in advance about the system for cooperation with the public health center.

<Possible close contacts, etc.>

The range of possible close contacts, etc. within schools is considered to be students, teachers and staff who come under either of the following (1) or (2) during the contagious period of the person testing positive (the period from 2 days before symptom onset (in the case of asymptomatic people, 2 days before the sample collection date relating to the positive result) up to the date meeting the criteria of discharge or cancellation of medical treatment; same applies below) up until the date when the person testing positive is hospitalized or starts designated facility treatment or home treatment.

Schools prepare candidate lists of close contacts if requested by the health center, and they are not required to take measures for the uniform suspension of attendance applicable to those falling under either category (1) or (2). Particularly regarding category (2), an appropriate judgment should be made based on the infection situation in the area and the state of activities at the school.

(1) Possible close contacts

- Any person who lives with the person testing positive (including those who live in the same room as the person testing positive in a dormitory, etc.) or who was in close contact for an extended period of time
 - Any person who was taking care of the person testing positive without using proper infection prevention measures
 - Any person who is highly likely to have come into direct contact with the droplets(sneezing, coughing, saliva, etc.) of the person testing positive (if a conversation took place within 1 meter without either person wearing a mask, they may be close contacts regardless of the length of time of the conversation.)
 - Any person who has been in contact with the person testing positive for 15 minutes or more (for example, those who have been talking to the person testing positive) within arm's length (1 meter as a guide) without necessary infection prevention measures (*).
- * For necessary infection prevention measures, check not only whether the person was wearing a mask, but also whether the person was wearing the mask in an inappropriate manner such as wearing the mask exposing the nose or on the chin.

(2) Possible people subject to testing in the vicinity of a close contact

- Any person who has been physically close to the person testing positive or who has had a high frequency of contact even if they were physically far away (students in the same class as the person testing positive)
- Any person who participated jointly in activities where they spoke or sang loudly, or engaged in exercise causing heavy exhalation (students engaging in the same club activities as the person testing positive)
- Any person who in their everyday life shares a place such as an eating area or bathroom with the person testing positive (students living in the same dormitory as the person testing positive)
- Otherwise, any person who came into contact with the person testing positive in an environment where infection control was inadequate, etc.

3.Measures for students to stay off school and decisions on temporary closure

In the event of there being the person testing positive at a school, the need to temporarily close the school in whole or in part will usually be decided by the school's establisher based on an investigation by the public health center and the advice of the school doctor. However, it is appropriate for the school's establisher to consider in advance the scope and conditions for temporary closure and make them public when there is a high likelihood that the infection has spread within the school.

<Examples of the scope and conditions of temporary closure>

If there is a possibility that the infection has spread in the school, such as when a person tests positive and was not infected at home, the school should make the person testing positive stay off school, and consult the school doctor, etc. to consider temporary closure as follows.

[Class closure]

-If any of the following situations applies and there is a high likelihood that the infection has spread within the class, the class should be closed.

- (1) When it is confirmed that multiple students in the same class have tested positive
- (2) If only one person has tested positive, but there are multiple people who have undiagnosed symptoms such as a cold
- (3) Otherwise, if the establisher deems it to be necessary

* However, the onset of symptoms of those who have not come to the school during the possible infection period is excluded.

* For those schools where the identification of close contacts is conducted by the health center, etc., class closures should be considered in cases where there are multiple close contacts in addition to one student who has tested positive.

-From the perspective of preventing the spread of infection in a class, rather than focusing solely on the number of persons, the intent of "multiple" above is not to make class closures in cases where, for example, even if multiple students have tested positive in the same class, there is no connection between the infection routes of those students, or there is no concern of infection spreading to other students in the class.

-The period of the class closure should be determined with approximately five days (including Saturdays, Sundays, and holidays), based on the situation of monitoring of the infection, the extent of the infection spread, the impact on students and other factors.

However, in cases where persons have symptoms of undiagnosed colds etc. or test results of close contacts are negative, a flexible response is possible, including shortening the period of the class closure.

[Grade closure]

-To implement the grade closure if multiple grades in the school have been closed and there is a high possibility that the infection has spread within the grade.

[Temporary closure of the entire school]

-To implement the temporary closure of the entire school if multiple grade levels have been closed, and there is a high possibility that the infection has spread within the school.

Other than the above, basically, the school does not need to be temporarily closed as an initial response, but for schools where the health center, etc. specifies the close contacts, the temporary closure of the school may be considered during the period until the overall infection situation can be

assessed.

Moreover, in cases when the identification of the close contacts is delayed due to the administrative situation of the health center, the reopening of the school may be considered, in consultation with the school doctor, approximately five days (including Saturdays, Sundays, and holidays) after the beginning of the temporary closure.

Guidelines for Countermeasures in the Case Where COVID-19 Infection of Students, Teachers or Staff is Confirmed at the Schools
【Major revisions】

First Edition	Revised August 19, 2022
When a case of COVID-19 is confirmed among students, teachers or staff at a school, in order for the school to be able to respond promptly in light of the situation of infection in the area and the volume of work of the public health center, it is important for the school and public health center to cooperate during normal times and to consent to an initial response system in place in advance. These Guidelines summarize the way of thinking in identifying close contacts, etc. in a school and making decisions on temporary closure, especially under circumstances where the area is designated subject to the declaration of a state of emergency. For the schools and the establisher of school, please refer to these Guidelines so as to respond according to the situation of infection in the area. These Guidelines are envisaged to be helpful in areas where there are no existing standards like the ones indicated in these Guidelines, or when the school establisher and the public health center need to discuss the response again when someone at the school tests positive for COVID-19, and if there are already similar standards in your area, you may follow them.	When a case of COVID-19 is confirmed among students, teachers or staff at a school, in order for the school to be able to respond promptly in light of the situation of infection in the area and the volume of work of the public health center, it is important for the school and public health center to cooperate during normal times and to consent to an initial response system in place in advance. These Guidelines summarize the way of thinking in identifying close contacts, etc. in a school and making decisions on temporary closure, mainly in regions where COVID-19 infections have spread. For the schools and the establisher of school, please refer to these Guidelines so as to respond according to the situation of infection in the area. These Guidelines are envisaged to be helpful in areas where there are no existing standards like the ones indicated in these Guidelines, or when the school establisher and the public health center need to discuss the response again when someone at the school tests positive for COVID-19, and if there are already similar standards in your area, you may follow them.

<u>In addition, for specific procedures for cooperation in identifying close contacts, etc., please refer to the “Cooperation to identify close contacts in infection spreading areas” (notification dated June 17, 2021).</u>	<u>Moreover, based on the characteristics of the current Omicron variant, please note that even if cases of infection occur at a school, it may not be necessary for the health center to specify close contacts. (For details, please refer to “Identification of persons in close contact at each place where an incident of infection has occurred, restrictions on movements, and active epidemiological examinations, based on the characteristics of the prevalent B.1.1529 Omicron variant strain,” a notification issued by the Ministry of Health, Labour and Welfare (MHLW) on July 30, 2022.)</u>
---	---

1. Responses when a case of COVID-19 is confirmed at a school

When a case of COVID-19 is confirmed among students, teachers or staff at a school, if the person testing positive is a student, the principal should take measures to ensure that the student stays off school, whereas if the person testing positive is a teacher or staff member, such person should take sick leave or work from home, and should not be made to go to work by reason of an exemption from the obligation to fulfill their work duties.

In addition, the same measures should be taken if a student, teacher or staff member is determined to be a close contact.

1. Responses when a case of COVID-19 is confirmed at a school

When a case of COVID-19 is confirmed among students, teachers or staff at a school, if the person testing positive is a student, the principal should take measures to ensure that the student stays off school, whereas if the person testing positive is a teacher or staff member, such person should take sick leave or work from home, and should not be made to go to work by reason of an exemption from the obligation to fulfill their work duties.

In cases where students, teachers or staff are designated as close contacts because of relations with infected persons at schools where close contacts are specified by the health center, the same measures should be taken. However, as an emergency response in order to provide the necessary education to children at kindergartens, elementary schools, compulsory education schools, and special needs schools, teachers or staff who are determined to be close contacts may be allowed to go to the school under certain conditions. (For details, see “Responses to requests for refraining from going out to close contacts who are staff at health centers, kindergartens, elementary schools, etc.,” a notification issued by the MHLW on March 16, 2022.)

2. Identifying close contacts, etc.

When a case of COVID-19 is confirmed among students, teachers or staff, the public health center usually conducts an interview to look into the movements of the person testing positive and conducts an investigation to identify close contacts. However, with regard to schools in areas subject to the declaration of a state of emergency or Priority Preventative Measure, in order to identify close contacts and persons in their vicinity subject to testing (hereinafter referred to as “close contacts, etc.”) based on certain standards indicated by the relevant public health center, it may be necessary for the school to cooperate in preparing a list of possible close contacts, etc.

2. Identifying close contacts, etc.

At present, the priority for the determination of close contacts may be given to high-risk facilities according to determination of the local government, but in cases where infection clusters have been confirmed, the local government deems that identification is necessary to prevent the spread of infections, or the local government has guidelines for the identification of close contacts and for the restrictions of movement regarding kindergartens, elementary schools, compulsory education schools, and special needs schools, close contacts may be identified even in the school.

In such a case when COVID-19 is confirmed among students, teachers or staff, the public health center usually conducts an interview to look into the movements of the person testing positive and conducts an investigation to identify close contacts. However, with regard to schools in areas with wide-spread infections, in order to identify close contacts and persons in their vicinity subject to testing (hereinafter referred to as “close contacts, etc.”) based on certain standards indicated by the relevant public health center, it may be necessary for the school to cooperate in preparing a list of possible close contacts, etc.

* In regards to identifications of close contacts, please also refer to the above-mentioned MHLW notification issued on July 30, 2022 and “Responses to COVID-19 infections of young children,” a MHLW notification issued on June 20, 2022.

* However, for schools where active epidemiological examinations are not conducted by the health center, it is not necessary for the schools to prepare a list of possible close contacts.

Schools, boards of education, etc. should consult as much as possible with the public health management department and other related organizations in advance about the system for cooperation with the public health center. <Possible close contacts, etc.> The range of possible close contacts, etc. within schools is considered to be students, teachers and staff who come under either of the following (1) or (2) during the contagious period of the person testing positive (the period from 2 days before symptom onset (in the case of asymptomatic people, 2 days before the sample collection date relating to the positive result) up to the date meeting the criteria of discharge or cancellation of medical treatment) up until the date when the person testing positive is hospitalized or starts designated facility treatment or home treatment.	Schools, boards of education, etc. should consult as much as possible with the public health management department and other related organizations in advance about the system for cooperation with the public health center. <Possible close contacts, etc.> The range of possible close contacts, etc. within schools is considered to be students, teachers and staff who come under either of the following (1) or (2) during the contagious period of the person testing positive (the period from 2 days before symptom onset (in the case of asymptomatic people, 2 days before the sample collection date relating to the positive result) up to the date meeting the criteria of discharge or cancellation of medical treatment; same applies below) up until the date when the person testing positive is hospitalized or starts designated facility treatment or home treatment. <u>Schools prepare candidate lists of close contacts if requested by the health center, and they are not required to take measures for the uniform suspension of attendance applicable to those falling under either category (1) or (2). Particularly regarding category (2), an appropriate judgment should be made based on the infection situation in the area and the state of activities at the school.</u>
--	---

(1) Possible close contacts -Any person who lives with the person testing positive (including those who live in the same room as the person testing positive in a dormitory, etc.) or who was in close contact for an extended period of time -Any person who was taking care of the person testing positive without using proper infection prevention measures -Any person who is highly likely to have come into direct contact with the droplets(sneezing, coughing, saliva, etc.) of the person testing positive (if a conversation took place within 1 meter without either person wearing a mask, they may be close contacts regardless of the length of time of the conversation.) -Any person who has been in contact with the person testing positive for 15 minutes or more (for example, those who have been talking to the person testing positive)within arm's length (1 meter as a guide) without necessary infection prevention measures (*).) *For necessary infection prevention measures, check not only whether the person was wearing a mask, but also whether the person was wearing the mask in an inappropriate manner such as wearing the mask exposing the nose or on the chin. (2) Possible people subject to testing in the vicinity of a close contact -Any person who has been physically close to the person testing positive or who has had a high frequency of contact even if they were physically far away (students in the same class as the person testing positive) -Any person who participated jointly in activities where they spoke or sang	(1) Possible close contacts -Any person who lives with the person testing positive (including those who live in the same room as the person testing positive in a dormitory, etc.) or who was in close contact for an extended period of time -Any person who was taking care of the person testing positive without using proper infection prevention measures -Any person who is highly likely to have come into direct contact with the droplets(sneezing, coughing, saliva, etc.) of the person testing positive (if a conversation took place within 1 meter without either person wearing a mask, they may be close contacts regardless of the length of time of the conversation.) -Any person who has been in contact with the person testing positive for 15 minutes or more (for example, those who have been talking to the person testing positive)within arm's length (1 meter as a guide) without necessary infection prevention measures (*).) *For necessary infection prevention measures, check not only whether the person was wearing a mask, but also whether the person was wearing the mask in an inappropriate manner such as wearing the mask exposing the nose or on the chin. (2) Possible people subject to testing in the vicinity of a close contact -Any person who has been physically close to the person testing positive or who has had a high frequency of contact even if they were physically far away (students in the same class as the person testing positive) -Any person who participated jointly in activities where they spoke or sang
---	---

loudly, or engaged in exercise causing heavy exhalation (students engaging in the same club activities as the person testing positive) -Any person who in their everyday life shares a place such as an eating area or bath room with the person testing positive (students living in the same dormitory as the person testing positive) -Otherwise, any person who came into contact with the person testing positive in an environment where infection control was inadequate, etc. <u>* If it is difficult to promptly identify the possible persons in (1) and (2) above in a school, even if only one person tests positive, in principle, depending on the situation of infection, it is possible for all of the people in the class to which the person testing positive belongs to be subject to testing.</u>	loudly, or engaged in exercise causing heavy exhalation (students engaging in the same club activities as the person testing positive) -Any person who in their everyday life shares a place such as an eating area or bath room with the person testing positive (students living in the same dormitory as the person testing positive) -Otherwise, any person who came into contact with the person testing positive in an environment where infection control was inadequate, etc.
3.Measures for students to stay off school and decisions on temporary closure In the event of there being the person testing positive at a school, the need to temporarily close the school in whole or in part will usually be decided by the school's establisher based on an investigation by the public health center and the advice of the school doctor. However, it is appropriate for the school's establisher to consider in advance the scope and conditions for temporary closure and make them public <u>in the areas subject to the declaration of a state of emergency or Priority Preventative Measures</u> when there is a high	3.Measures for students to stay off school and decisions on temporary closure In the event of there being the person testing positive at a school, the need to temporarily close the school in whole or in part will usually be decided by the school's establisher based on an investigation by the public health center and the advice of the school doctor. However, it is appropriate for the school's establisher to consider in advance the scope and conditions for temporary closure and make them public when there is a high likelihood that the infection has spread within the school.

likelihood that the infection has spread within the school.

<Examples of the scope and conditions of temporary closure>

If there is a possibility that the infection has spread in the school, such as when a person tests positive and was not infected at home, the school should make the person testing positive stay off school, and consult the school doctor, etc. to consider temporary closure as follows.

First, the school may need to be temporarily closed for the period until close contacts are identified, their test results are ascertained, and the grasp of the whole picture of the infection is obtained and then cleaning and disinfecting the school facilities are completed (in general, a few days to a week in total).
It should be noted that the period from exposure to the onset of symptoms is often 5 days but can be as long as 14 days, and when the infection becomes apparent, the spread of the infection may expand still further even if a temporary closure is implemented.

In addition, if through grasping the whole picture, it emerges that there is a possibility that the infection has spread, for the establisher such as the board of education, etc. please consider temporarily closing a particular class or grade, or the entire school as the next necessary measure.

[Class closure]

-If any of the following situations applies and there is a high likelihood that the infection has spread within the class, the class should be closed.

(1) When it is confirmed that multiple students in the same class have tested

<Examples of the scope and conditions of temporary closure>

If there is a possibility that the infection has spread in the school, such as when a person tests positive and was not infected at home, the school should make the person testing positive stay off school, and consult the school doctor, etc. to consider temporary closure as follows.

[Class closure]

-If any of the following situations applies and there is a high likelihood that the infection has spread within the class, the class should be closed.

(1) When it is confirmed that multiple students in the same class have tested

(2) If only one person has tested positive, but there are multiple people who have undiagnosed symptoms such as a cold

(4) Otherwise, if the establisher deems it to be necessary

-The period of the class closure should be determined with approximately 5 to 7 days, based on the situation of monitoring of the infection, the extent of the infection spread, the impact on students and other factors.

(2) If only one person has tested positive, but there are multiple people who have undiagnosed symptoms such as a cold

(3) Otherwise, if the establisher deems it to be necessary

* However, the onset of symptoms of those who have not come to the school during the possible infection period is excluded.

-From the perspective of preventing the spread of infection in a class, rather than focusing solely on the number of persons, the intent of "multiple" above is not to make class closures in cases where, for example, even if multiple students have tested positive in the same class, there is no connection between the infection routes of those students, or there is no concern of infection spreading to other students in the class.

-The period of the class closure should be determined with approximately five days (including Saturdays, Sundays, and holidays), based on the situation of monitoring of the infection, the extent of the infection spread, the impact on students and other factors.

However, in cases where persons have symptoms of undiagnosed colds

[Grade closure] -To implement the grade closure <u>if there is a high possibility that the infection has spread within the school grade, such as closing multiple classes in the same grade.</u> [Temporary closure of the entire school] -To implement the temporary closure of the entire school <u>if there is a high possibility that the infection has spread within the school, such as closing multiple grades in the school.</u> <u>[Reopening of school in a situation where an active epidemiological investigation was delayed]</u> - <u>Based on the consultation with the school doctor, etc, it may be possible to reopen the school approximately 5 days after the start of the school closure (including Saturdays, Sundays, and holidays). (The reopening should be done with caution while thoroughly carrying out stay at home of persons with cold-like symptoms such as fever, monitoring their health condition, and other infection countermeasures.)</u>	<u>etc. or test results of close contacts are negative, a flexible response is possible, including shortening the period of the class closure.</u> [Grade closure] -To implement the grade closure <u>if multiple grades in the school have been closed and there is a high possibility that the infection has spread within the grade.</u> [Temporary closure of the entire school] -To implement the temporary closure of the entire school <u>if multiple grade levels have been closed, and there is a high possibility that the infection has spread within the school.</u> <u>Other than the above, basically, the school does not need to be temporarily closed as an initial response, but for schools where the health center, etc. identifies the close contacts, the temporary closure of the school may be considered during the period until the overall infection situation can be assessed.</u> <u>Moreover, in cases when the identification of the close contacts is delayed due to the administrative situation of the health center, the reopening of the school may be considered, in consultation with the school doctor, approximately five days (including Saturdays, Sundays, and holidays) after the beginning of the temporary closure.</u>
--	--